

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	「高校生が小学生にロボットプログラミングを教えるルー型オリジナル体験学習“ロボメイツ”」、「尼崎市のプログラミング教育の地域連携・高大連携」、「工業版 STEAM 教育」～3つの取組～			
申請大学・高校等名	大学・高校等名	尼崎市立尼崎双星高等学校		
	活動グループ名	商業学科課題研究、普通科情報科、電気情報科課題研究・宇宙科学部	参加学生等人数	224人
指導責任者名及び連絡先	学部・学科等名称	商業学科、普通科教科情報、電気情報科		
	責任者氏名	福井厚輔、石井友貴・猪飼涼介、櫻木嘉典	連絡先電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団体及び代表者名	団体名	株式会社エアグラウンド、園田学園女子大学授業サポーターグループ、ポノポノプレイス、株式会社ニューテック		
	代表者氏名	畠中裕介、堀田博史 吹野加代、山中俊介	連絡先電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動目標	地域のつながりの希薄化が進む中、①地域を支えるネットワークの構築のため、②身近な地域でささえあいの意識を醸成するため「ロボメイツ」「プログラミング」「環境やエネルギー問題」等をテーマに地域住民が集う場づくりや多世代間交流の実践を通じて地域の活性化を目指す。			
活動内容及び実績、評価	<p>商業学科課題研究 「高校生が小学生にロボットプログラミングを教えるルー型オリジナル体験学習“ロボメイツ”」について、別紙参照。</p> <p>普通科情報科 「尼崎市のプログラミング教育の地域連携・高大連携」については、別紙参照。</p> <p>電気情報科課題研究・宇宙科学研究会 「工業版 STEAM 教育」について 工業版 STEAM 教育では、双星高校、彩星工科高校、芦屋国際中等教育学校、大阪工業大学の4校でロケット打ち上げ実験を2回(6/29、10/14)実施し、模擬人工衛星(自作)の運用テストを行った。また、1/15にはオンラインで成果発表会を実施し、他校の取り組みや科学的な内容について交流した。本校で取り組んだ生徒に満足度のアンケートを実施したところ、5点満点中で平均 4.75 だった。生徒たちの感想には実験結果の分析や製作時の段取りが大切だと気付いた記述があり、探求活動による問題解決手法の学習として成果があったと考えている。</p> <p>①計画に対する達成度 関係団体、本校生徒、本校教員の目線から見て、いずれも計画に対して、十分な達成度であった。</p> <p>②活動に伴う生徒や地域の変化 協力いただいた団体の方にも活動をご覧いただき、お褒めの言葉をいただいた。本校生徒は、ロケット打ち上げ実験に向けての準備を試行錯誤しながら進め、良い経験ができた。本校教員は、この1年間の活動を通して、生徒の自主性、積極性の大きな成長を感じることができた。</p>			

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。